

令和5年度 自己評価

認定こども園あわたべ

1. 質の向上

① 不適切保育の防止

園内研修で子どもへのハラスメントを学ぶ機会を持った。また、物的・時間的な環境構成を見直すことで、保育者の負担軽減につなげ、そこから不適切保育の防止につなげていった。

② 園の透明化と保護者との信頼関係の構築

・送迎の際や行事等で園内に入ってもらうことや保護者の保育参加を再開した。また、クラスの様子を写真や動画で配信することで園内の様子を見えやすくすることができた

③ リスクマネジメント能力の水準向上と事故防止

・お散歩マップを作成し、園外保育の事故防止につなげることができた。

④ 公開保育の積極的な実施

・公開保育を実施するとともに、6園の公開保育に参加し、学んだことを自園の保育に取り入れていった。

2. 人材定着・確保への取り組み

① 各種ハラスメントの防止

・ハラスメント研修を実施し、規定の周知、具体的な項目や内容などを確認しあう機会を持つことができた。

② 職場のモラル向上

・園内で共有すべきルールを可視化するため、ルールブックを作成し、コンプライアンス意識の向上につなげることができた。

3. 生産性の向上

① ICTやサブスクサービスの活用により職員の負担や作業の軽減

・サブスクサービス「手ぶら登園」を導入したが、利用する保護者は限定的だった。

② 保育材料、遊具、用具の準備などの合理化

・園庭内に遊具の置き場所を作り、子どもたち自身が自由に使ったり、片づけたりできる環境を作ることで、子どもの主体性の尊重、職員の動線の向上につなげることができた。